

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	尾道発達相談・療育支援センターあづみ園			
○保護者評価実施期間	2025年12月16日 ~ 2025年12月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	72名	(回答者数)	68名
○従業者評価実施期間	2025年12月16日 ~ 2025年12月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	18名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月17日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種の専門職員が多角的なアセスメントを行い、保護者からの相談しやすい環境を多く設けている。（クラス懇談、個別指導後のフィードバック、送迎時など）	・行事や個別指導等、担当者は保護者の来園日を把握し、二つに合わせて時間を設定するなど、就労している保護者の負担にならないよう工夫をしています。	・療育の質の向上を図る研修への参加や保護者支援を充実させていく。
2	・関係機関と連携し、子どもの支援に反映している。	・併行先へ訪問し、活動の様子を見学後、支援の共有を行っています。 ・併行先の職員に来園していただき、活動の様子を見学した後、支援の共有をおこなっています。 ・カンファレンスに出席していただき、子どもの様子及び支援の方向性を共有しています。	・併行先毎に見学日を設けていく。 ・送迎時や電話連絡等日ごろから情報交換を行いやすい体制を整えていく。
3	・地域社会に開かれた講演会や地域啓発活動を行っている。	・定期的に実施し、新しい情報を早く正確に学習できる場を設け、子どもたちの療育へ反映できるようにしています。 ・教育委員会、地域の就学前施設、放課後等デイサービスなど、関係機関とのシンポジウムの開催と意見交換を実施しました。	・継続的に著名な先生方を招聘し、必要とされる情報の提供に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動参観や行事で保護者同士の交流の機会は増やしたが、きょうだい児向けのイベントの開催がない	・行事の際に、園児とその家族がしっかり関わる機会を持ちたいとの思いから、きょうだい向けのイベントや交流の機会が少ない。	・きょうだい児向けのイベント内容の検討。 ・利用児ときょうだい児と一緒に活動する場面を設定し、家庭での困り感への対応策を保護者と一緒に考えられる様にする。
2	避難訓練を実施しているが、保護者に周知されていない	・現在の訓練は実施しているが、園児と職員のみが参加している。訓練内容はおたより等を通じて公開しているが、見ていない保護者もいる。	・お迎えが必要な災害を想定した訓練を計画し、実際に保護者にも参加してもらう。参加型の訓練を開催する事で、災害時のシミュレーションを行う。
3	各マニュアルを作成しているが、職員間で周知されていない。	・マニュアルを作成し職員全員が回覧しているが、どの棚にあり、自分がどの担当なのか把握できていない職員がいる現状がある。	・再度、回覧をし、自分がどの担当なのかを把握すると共に、マニュアルの流れに沿った訓練も実施する機会を設ける。

保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		公表						
事業所名		尾道発達相談・療育支援センターあづみ園						
		公表日 2026年1月30日						
		利用児童数 72名						
		回収数 68名						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 ・ 体 制 整 備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	88%	7%		4%	<ul style="list-style-type: none"> センターに場所が変更になって色々な面で安全になったと思う 第3あづみ園と比べると広さは狭く感じます。 走り回れる十分な広さの教室だと思います。 第三あづみ園から移動して、少し狭くなったかと感じた。あまりじっくり見ていないのでわからないところもある。 教室もブレイルームも十分な広さだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間をずらしたり活動に合わせて少人数で動くなどしてしっかり身体を動かすようにしていきます。 子ども達が安心安全で過ごせる様に、環境整備を行なながら支援していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	79%	12%		9%	<ul style="list-style-type: none"> 保育園より療育園の方が先生の人数が多く、しっかり見ていただいていると思います。 目がしっかり届く配置数だと思います。 余裕がないように見える場面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育提供時間内はなるべく職員が入る。 配置基準は満たしているが、活動や子どもの実態に応じて、配置人数を調整しながら対応していきます。 声を掛け合いながら、安全に支援提供が出来るようにしていきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	85%	4%		10%	<ul style="list-style-type: none"> 特性に応じた個別対応が出来ている 子どもが勉強の部屋は○○だよーと教えてくれるようになります、視覚的に分かりやすくて良いと思います 子どもの目線にマークがあつたりロッカーなど家具があるので、わかりやすい施設です。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子ども達の特性や課題に応じて、丁寧な構造化、視覚的にわかる工夫をおこなっていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	91%	4%		4%	<ul style="list-style-type: none"> いつ行ってもとても綺麗にされていると思います。 トイレ掃除などしっかり行われていって、良かったと思う。 いつもきれいに保たれていて気持ちがいいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き子ども達の過ごしやすい空間を提供すると共に、清潔の保持に努めます。
適切な 支援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	99%	1%			<ul style="list-style-type: none"> 年に何回か計画書を作っていたとき、こちらも計画や目標や分かりやすいです。 計画書作成前後に面談もあり、ニーズを元に作成されていると思います。 子どもに寄り添った支援で、特性をよく理解下さり、困ったことにもすぐに対応して頂けてたすかります。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子どもの特性や課題に応じた支援がおこなえるようにしていきます。また保護者の困り感についても、適切に対応出来るようにしていきます
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	96%	1%		3%	<ul style="list-style-type: none"> 合っていると思います。 	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96%	4%			<ul style="list-style-type: none"> 年に何回か計画書を作っていたとき、こちらも計画や目標が分かりやすいです。 よく聞いて下さりしっかりと作成されています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子どもの様子や保護者のニーズに対応した支援計画が作成出来るようにしていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	97%	3%			<ul style="list-style-type: none"> 家庭支援（ペアレントトレーニング）をもっとして欲しい。 しっかりと考慮されて設定されています。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援の内容の検討していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	94%	4%		1%	<ul style="list-style-type: none"> 保育園だけでは難しい個々の苦手なことにしっかり向き合っていただけていると思います。 アプローチ方法の統一はされているのだろうが、設定療育の中で日々の間わりからこう変化した、こういう反応、気をつけるべきことなどの様子がわからない。 計画書に沿った内容になっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き支援計画に沿った対応が出来るように、保護者と実態の共有をしていきます。 変化や対応方法などについての共有方法については検討していきます。

10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	87%	7%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・夏はプール、室内でのゲームなども毎月に内容が変わったりして工夫されています。並行先の子供園では体験できないこともできておりよかったです。 ・カレンダーであらかじめ予定は組まれているが天候や園児の様子から活動内容をかえられている。 ・子ども達が飽きない様にいろんなことを組み込んでとても工夫されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子ども達の課題に、活動を通して支援出来るようにしていきます。 ・活動の変更については、変更になる事もあるので、変更時子ども達がスムーズに気持ちの切り替えが出来るように支援していきます。 	
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	53%	22%	12%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・併行先のこども園の行事に参加するので活動する機会はあります。 ・あまり交流していると聞かない。もっと共有して欲しい。 ・他の園に通ったことはないのでよく知らないです。 ・他の園との交流は聞かないでないと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣のこども園などの交流機会を増やしていきます。 ・子どもや保護者のニーズに合わせて対応していきます。 ・地域の公園などを利用し交流できるようにしていきます。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	93%	6%	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の前に説明会があり、細かく説明していただきました。 ・丁寧でわかりやすい説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、丁寧でわかりやすい説明を心がけます。 	
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96%	3%	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス等で説明してくださりました。 ・見ながらわかりやすく説明して頂けます。 		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	91%	7%	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・先月の研修会（フォーラム）に参加させていただきました。 専門的な内容に加え、それに基づく支援の仕方や考え方なども学べてとても参考になりました。また、定期的に行われる心理士の先生との個別の支援時間でも、その時々の子供の様子をみてフィードバックをいただけるので大変ありがたいと感じております。 ・小学校入学前の研修会に参加し、とても参考になり有難かったです。 ・個別指導や親子活動の時のクラス懇談で話す機会があります。勉強会もありとても助かっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も“就学について”“支援方法について”など、色々な学習会を検討していきます。 	
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	88%	9%	1%	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・月一の個別指導で日々の様子を教えてもらっています。 ・直接会える機会は少ないですが、連絡帳や心理指導等を通してできていると思います。 ・普段は会わないので、連絡帳でのやり取りとなりがち。 ・先生と直接お話しする機会がないため、連絡帳でのやりとりにて限られた情報交換である。発達段階はカンファレンスで知るかたちです。 ・連絡帳や送迎時に伝え合えてます。しっかりと共有理解出来ていると思います。 ・園での様子は少し把握しにくいと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、連絡帳や送迎時、個別指導時に園での様子について、保護者に伝えながら共通理解を図っていきます。 ・送迎時、連絡帳、コドモン、電話など状況に応じた対応で保護者と子どもの実態の共有が出来るようにしています。
保護者への説明等	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	97%	3%			<ul style="list-style-type: none"> ・相談毎にアドバイスをいただき、子育てをする上でとても心強いです。 ・連絡帳に気になることを書くと助言をいただける。 ・言語、心理指導時に助言していただけます。 ・月に1回個別指導があり、その時にアドバイスを頂けます。 	
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94%	4%	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・寄り添った支援をして頂けて嬉しいです。 		

18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	72%	15%	4%	9%	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事で参加は出来ていませんが、案内をしていただいている。 ・保護者会主催の研修やきょうだいも参加できるお祭りもあり、支援はされていると思います。 ・親の集まる会はある。きょうだいについてはなかった。あると嬉しい。 ・親子活動でのクラス懇談で交流があつたり、夏祭りイベントで家族きょうだいで参加出来たり交流する機会がいっぱいありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の中では、きょうだいとの関わりも含めたアドバイスを引き続き行つてていきます。 ・きょうだいが参加できるイベントについては検討していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	90%	4%		6%	<ul style="list-style-type: none"> ・設問的回答とは少しがうかもしれないのですが、入園するまでに待ち時間があった。職員の先生方はとても丁寧に迅速に対応していただいていると思いますが、受け入れ人数の関係などすぐに外来（月2回）からなかなか入園することができなかつた。 ・相談してから受診までは早く進めることができた。 ・受け入れ人数の幅がもう少し広がれば良いと思います。 ・困ったことを相談するとすぐに対応して頂けて大変助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き保護者から相談できる体制は整備しておき、迅速かつ丁寧な対応が出来るようにしていきます。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	87%	10%		3%	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えやすい環境です。 ・十分に配慮されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対面・連絡帳、コドモンなど、色々な伝達方法を整備し、保護者が伝えやすい様にしています。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	91%	7%		1%	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーにコドモンで発信されています。 ・情報は都度発信されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個人情報等に配慮し、各種おたより、コドモンなどで発信していきます。 ・自己評価についてもHPで発信しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	97%	3%			<ul style="list-style-type: none"> ・行事ではSNSにあげない等の周知徹底している。 ・園での様子を知りたく、また、成長記念に写真販売してほしい気持ちはあるが、個人情報の観点から難しいのだと思う。 ・しっかりとされていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き個人情報の取扱いについて留意していきます。
非常時等の対応	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	90%	4%		6%	<ul style="list-style-type: none"> ・入園の際にマニュアルはある程度説明を受けたが、訓練が実施されているのかはわからない ・定期的に避難訓練があったり何かあった時の対応についてお便りで教えて頂けるので安心です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き行事予定には避難訓練のお知らせをすると共に、実施した内容も定期的に配信する様に検討していきます。
	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	88%	6%		6%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが避難訓練をしたと教えてくれます。 ・定期的にあるので安心して子どもを預けれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き非常時を想定した様々な訓練を実施し災害発生時に備えていきます。
	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	91%	4%		4%	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に過ごせる様に支援して頂いています。 	
	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	82%	10%		7%	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり連絡きたことがない ・こちらが気付いて連絡する方が多い ・鼻血がでた、体をぶつけたなどの細かいことでも連絡帳に書いていただいたらしくています。 ・何かあればすぐに教えて頂けます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き細かい変化も伝えていくようになります。 ・ケガ等の発生時はより迅速かつ丁寧な連絡や説明をおこなっていきます。
満足度	こどもは安心感をもって通所していますか。	92%	6%		2%	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が優しく指導してくださっているようです ・嫌がることなく通所しています。 ・こどもの事をよく理解して下さり、寄り添った支援なので本人も安心して通っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き安心できる場になるよう支援していきます。

28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	80%	15%	1%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・週2回なので慣れるのに時間がかかるつているのかもしれません。 ・併行園の方が慣れているのか、行きたいと言い、あづみ園に行くのは嫌がります。 ・毎週通うこととても楽しみにしています。 ・併行先への通園も毎日楽しみにしているのですが、より小さいコミュニティでの安心感があるようです。併行先よりも良い意味で、自分を出しているような姿が見受けられます。 ・ルールがある遊びを楽しく参加しています。 ・楽しそうに園での出来事を話してくれます。 ・行く前は嫌がりますが、行った後は楽しい話を聞かせてくれます ・いろんな活動が出来るので毎日楽しみに通っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが行きたいと思う活動や行事を計画し支援していきます。 ・併行先の先生とも連携をとりながら三者が園児の様子を共有し支援出来るようにしていきます。 ・現在の課題や今後予測される課題を活動内に取り入れ、楽しく活動に参加出来るようにしていきます。
						<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援が丁寧で、子どもの変化や成長を分かりやすく共有していただける点に大変満足しています。子どもに寄り添った関わりと、保護者への説明が分かりやすく、安心して利用しています。 ・いつもありがとうございます！ ・先生方には感謝しかありません。 ・併行先での姿をみても、この一年でとても成長を感じます。 ・併行先以外で、あづみ園という自分の安心できる場所ができたからだと思います。また、親である私も、いろいろと相談させていただける場所があることでとても支えていただいていると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していくためにも、人員の確保や業務改善等を協力してすすめていく。 ・子どもや保護者の方に安心して利用して頂けるように、サービス提供をおこなっていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		尾道発達相談・療育支援センターあづみ園				
		公表日 2026年1月30日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	94%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・合併したので他クラスは今の室内空間で満足しているか不安に思う。 ・クラスにより狭く感じるので、改善の必要はあると思う。 ・部屋数があり、基準を満たしている。 ・パーテーション等で部屋を区切り使いやすくしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・活動に応じて人数を分けて活動し、しっかりと身体を動かせるようにする。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	78%	22%	<ul style="list-style-type: none"> ・公休ができたが必要人員は満たされている。 ・有給などの休みがあった場合は基準は満たしているものの不足を感じることがある。 ・基準は満たされていても余裕がない。 ・業務改善が行われ公休が増え、人員が少ない日がある 		<ul style="list-style-type: none"> ・少ない人員の時には、声をかけあい補っていく。 ・公休をある程度、職員の希望する日にする。 ・公休職員の代替え職員など、職員の確保を行う。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	94%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・クーラダウン用の部屋があればなと思う。 ・何の部屋なのか、視覚物等を使い知らせている。 ・トイレ収納のワンタッチ式の鍵が外れいることがある。また子どもが触って外して扉を開ける事があるので指を挟んだりする可能性がある。 ・必要に応じて視覚支援を取り入れている。 ・イラストなどを掲示している。 ・必要なイラストを貼ったり、テープでラインを引いたり工夫している。 ・ロッカーや下駄箱など自分の位置が視覚的に分かる形で示されている。（マーク等） ・テラスのコンクリートが危ないと感じるところがある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・どの部屋が空いているかを把握しておく。時間帯によっては、放デイのスペースをかりる ・バーション等を活用し空間を活かす ・マットを敷くなど、安全対策をする。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	94%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日掃除している。 ・指導室は常に綺麗にすることを心掛けている。 ・日々、清掃をし清潔にしている。 ・活動に合わせて、使用する部屋や部屋の中の配置などを変えながら活動に取組んでいる。 ・子どもが帰った後、掃除をしている。 ・各部屋の物が多く片付いていない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・空間が限られているので、不必要的物は処分していく。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	94%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝礼で確認している。 ・子供の分かりやすいキャラクターを貼り、お勉強の時に使う部屋と位置付けている。 ・担当別に部屋がある。 ・別の用途で使用している場合も空いてる部屋を使用している。 ・必要に応じて個室で対応したり、バーションを使ってスペースを区切って対応したりするなど工夫している。 ・クラスで午睡が難しい園児に対して、別の場所で午睡を行なっている。 ・必要に応じてパーテーションを使用している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・使用状況によっては、難しいこともあるが、時間や場所等確保できる工夫は引き続き行っていく。
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、終礼、各会議で知らされている。 ・活動前や活動後にチームで話をしている。 ・日頃からクラスの職員同士で活動や子どもの特性について話をしている。 ・会議などをしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・会議に参加できなかった職員に対し、会議内容を共有するための記録を作成し回覧をするに限らず、職員間での共有を密に行う。

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年行い、対応している。 ・行事ごとにアンケートを行い来年度ではご意見頂いたことを参考に行事を計画できている。 ・保護者向けにアンケートなどを実施しているが、改善には至っていない部分もあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等で頂いた意見を職員にも共有する
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	77%	29%	<ul style="list-style-type: none"> ・意見は言えるが、改善されているかどうかは分からない。 ・情報の共有が充分でない。 ・いつも意見を聞いてもらっている。 ・年に2回、面談がある。 ・意見を言う機会はあるが、改善には至っていない部分が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善の動きを感じられると、より意見を出しやすくなるのでは？ ・会議の活性化を図っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	82%	18%	<ul style="list-style-type: none"> ・対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より、第三者による外部評価を実施している。 ・課題に上った案件に対し改善を行った。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行っている。 ・外部から講師を招いたりし、勉強する機会を設けてもらっている。 ・職員研修やフォーラムなど、月1回以上の研修の機会がある。 ・職員研修やフォーラムで学んでいる。 ・定期的に行われている。 ・毎月、職員研修を実施している。 ・フォーラムや職員研修などで学ぶ機会がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回定期的に事業所にて研修を実施。また医師や大学教授など各方面より講師を招聘し地域に開かれた形でのフォーラム講演会を開催し参加をしている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公開している。 ・クラスだよりや連絡帳で知らせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度より公表しています。
児童発達支援	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを行い、それをもとに計画をたてている。 ・子どもの様子、保護者の意向を聞き取りながら作成している。 ・カンファレンスや懇談、個別指導などで保護者と話す中で、情報共有やニーズの把握を行い、支援計画作成に役立てている。 ・モニタリング、支援計画会議を実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリングに限らず、個別指導後のフィードバックや親子活動、送迎時、日々の連絡帳等でもニーズの把握に努めている。また必要に応じ面談を行い適宜変更等も行っている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 各専門が参画して計画をたてている。 支援計画会議が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理者、保育担当、公認心理師、言語聴覚士など、個に関わる担当職員にて個別支援計画会議を行い作成してます
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画をもとに支援を行っている。 話し合いの場が確保されている。 ・共有している。 ・全員に共有されているとは言い難い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を変更するごとに話し合いができる時間を持つ。 ・クラス間などで実態交流の機会（30分程度や数カ月に1回など）を持つるとよい。 ・パートの先生方とも計画を共有出来る時間を持つるとよい。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・個別検査をしている。 ・カンファレンス毎に発達検査を実施し、集団場面の様子と合わせて子どもの状態についてアセスメントを行なっている。 ・発達検査を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達検査やチェックシートなどのツールを使用し、集団場面での支援や取り組みにより確認し記録している。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	94%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインを完全には把握していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや支援内容を踏まえ、作成している。

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	94%	6%	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いは日々行っている。 相談してから決めている。 立案はリーダーがしている。細かな工夫についてチームで意見を出し合っている。思いがある時には伝えるようにしている。 主にリーダーが立案したものを共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤務時間が異なり共有できないこともあるため、立案後のねらい等のすり合わせが十分に行なっていく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 意見を出し合い、一つのやり方に偏らないようにしている。 クラス、個々の課題に合わせて活動を組み立てている。 子どもの実態により活動を組み立てている。 案があれば伝えるようにしている。 繰り返し行う中で、徐々に展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の行事や地域の文化、園外活動等を取り入れた活動に取り組んでいる。また、同じ活動の中でも変化や展開をし常態化しない工夫をしている。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子をちとに支援を行っている。 さまざまな活動を取り入れている。 集団活動と心理、言語による個別指導の両方を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援管理者、保育担当、公認心理師、言語聴覚士など、個に関わる担当職員にて個別支援計画会議を行い作成してます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	61%	39%	<ul style="list-style-type: none"> 時間がない時もあるが、基本毎日行っている。 前日からの準備や打ち合わせは必ずしている。 打ち合わせが必ずではないが月案でねらいの確認はしている。 終礼で次の日の療育内容や人員配置について確認を行っている。 前日に支援内容を職員間で打ち合わせを行うことができている。 朝礼の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> パート職員との連携や共有が不十分ではないか⇒時間をとり（短い時間）話す機会を設ける。 支援に入る人員を確保する。 伝える側、聞く側がともに配慮する。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	72%	28%	<ul style="list-style-type: none"> 毎日行っている。 必要に応じて振り返りや情報共有を行っているが、必ずではない。 子どもの様子を話しながら、記録している。 必ずではないが、昼寝の時間を使って話せる時には話すようにしている。 終礼時に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝える側、聞く側がともに配慮する。 参加が出来ない職員もいる為、記録に残し共有していく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 毎日行っている。 振り返りの話し合いをしている。 活動時の様子や支援内容を記録している。 	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	94%	6%	<ul style="list-style-type: none"> 必ず行っている。 年に2回は実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 行っていることを知らない職員には知らせる。
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	89%	11%	<ul style="list-style-type: none"> 児発管や担当が参加している。 適切な方が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 行っていることを知らない職員には知らせる。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 入学先決定後、併行先や就学先と連携を行っている。 カンファレンスへの参加や行事の見学をしている。 カンファレンスで併行先がある園児は、併行先の先生も参加していただき、支援内容を共有している。 必要に応じて保育所や小学校と連携をしている。 	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・併行先と定期的に意見交換している。 ・併行先の先生方も含めてカンファレンスを実施している。 ・併行先に連携に行っている。 ・カンファレンス時に併行先の先生にも参加してもらい情報共有をしている。 ・必要に応じて連携を行い、実際に過ごしている姿を見学することがある（園⇒併行先）。 ・訪問したり、来園してもらったりしている。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・就学先の先生方に実際に子どもの姿を見てもらっている。 ・学校見学、保幼小連絡協議会など連携している。 ・電話や直接来園していただくなどの方法で連携を行っている。 ・訪問したり、来園してもらい、連携している。 ・見に来てもらったりとやり取りはできていると思う。 ・卒園カンファレンスで就学先の小学校や特別支援学校の先生に参加していただいている。 ・卒園カンファレンスを実施している。 	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	89%	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・他の法人の事業所との関わりはない。 ・法人内での他事業所との交流はある ・ほとんど連携はできていない。 ・他の支援センターや事業所と意見交換をする場が設けられたら良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節のイベントを、法人内の他事業所と共に開催した。 (お楽しみ会・クリスマス会)
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に作業療法士、歯科医などの専門家の先生に来園していただき、アドバイスを受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関として言語聴覚士、小児科医の講師を招聘した講演会へ参加している。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	65%	35%	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な方が参加している。 ・児発管や管理者が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管や管理者と一緒に職員の参加も検討していく。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	18%	82%	<ul style="list-style-type: none"> ・交流があればいいと思う。 ・活動で地域の公園に遊びに行く。 ・自由遊びの時間等を利用して交流する機会があったり、園庭開放して機会をつくったりはできると思う。 ・保育所や認定こども園など他のこどもと活動する機会がないため、近くのこども園のこども達を行事に招待するなどの交流を行うことが必要であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の就学前教育施設との交流の働きかけを検討する。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・お迎え時などを利用して保護者さんとの情報交換を心掛けている ・送迎時や個別指導時に子どもの様子について伝えている。 ・連絡帳やコドモン ・個別指導や送迎時に保護者と子どもの発達状況や課題について共有できている 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時、親子活動後の懇談、カンファレンス等、子どもの様子について理解を深める機会は多くあり、アプリを使っての相談等には迅速に対応している
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	94%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・頻度は少ない。 ・以前は行われていたので、復活させて欲しい ・働く保護者が増えているから、個別やクラスだより等で積極的に伝える必要があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて個別に実施している。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	88%	12%	・契約時に説明している。 ・児童発達管理責任者、管理者が説明し、契約を行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・保護者の意見、子どもの現状をもとに行う。 ・モニタリングや懇談を実施している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		・モニタリングの際に支援計画の内容をもとに保護者と振り返りを行っており、その時に次回の計画の変更点について保護者と確認をしている。 ・配付時に説明し同意をもらっている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・気になる場合は話し合いの場も設けている。 ・定期的に実施している個別指導の際に相談に応じている。 ・個別指導や年2回の懇談、相談があれば適宜対応している。 ・連絡帳や個別の時にできていると思う。 ・個別指導やモニタリングなどを行い、家族等からの相談に適切に応じ、助言と支援を行なっている。 ・連絡帳や個別の際に助言をしている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	77%	24%	・保護者会や学習会などで保護者が交流できる機会を設けている。きょうだい同士の交流の機会はない。 ・お楽しみ会では、利用者のきょうだいも参加可能にした。 ・きょうだい児にはお楽しみ会への参加を促した。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・すぐに行動に移している。 ・連絡帳やコドモン、電話などでいつでも相談できることを伝えており、相談があったときには職員間で共有しながら対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・以前のように紙のほうが確実に目を通しているように思う。 ・園だよりやクラスだよりを発行している。 ・コドモンを使用して行なっている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・厳重に管理している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・保護者にあった内容で誤解がないように伝えている。 ・わかりやすく丁寧な対応を心掛けている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29%	71%	・個人情報保護の観点から地域住民を招待するような行事はしていない。 ・星の里の方とも交流があつてもいいと思う。 ・星の里など施設を利用されている方を行事(運動会、発表会)のリハーサルで招待する良いのではないかと思う。 ・フォーラムへの参加。 ・地域の方を招待するような行事がない。
緊急時対応等	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	12%	・実演の講習のほうがより良い。 ・研修を実施している。 ・決まった訓練だけでなくあらゆる訓練を実演で取り入れていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・毎月訓練を実施している。 ・イラストを使って、子どもたちにも分かりやすく伝えられていると思う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・情報の共有をしている。 ・発作がある子には、保護者と発作時の状況や対応について、共有している。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・給食は色を分けるなど必ず間違いがないようしている。 ・アレルギー食の対応をしている。 ・トレイの色を変えたり、違うテーブルにしたりするなど、間違えがないように意識できるような配慮をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	94%	6%		・安全計画は作成しているので、職員に周知すると共に、子どもの実態から想定される事故の訓練や研修を実施していく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	94%	6%	・周知していると思うが、うまく伝わっているがどうかは分からない。 ・緊急対策資料を作成し、緊急時の連絡先を把握している。年に1回は家庭で変更点がないか見直しをしてもらっている。	・周知はしている。 ・実際に発生した場合に備え、訓練を検討していく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・共有している。	・共有すると共に、事故発生時は再発防止に向けて会議を実施している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・職員研修内で実施している。 ・年に一回、研修を受けている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		・支援計画に記載している。	